

## 2020 春季生活闘争・闘争開始宣言 2.3 中央総決起集会 闘争開始宣言

日本の未来を左右する、2020 春季生活闘争がいよいよスタートする。

現下の日本は、超少子・高齢化に伴う人口減少と労働力不足の中にあっても、ゆるやかな経済成長を続けているが、先行きについては、米中対立による貿易摩擦を背景とした世界経済の減速、第4次産業革命などによる産業構造の変化、膨らみ続ける社会保障費など、経済・社会の持続性確保にむけた不透明感が漂っている。

一方で、働く者の処遇については、ここ数年、経済成長と労使の努力により、賃上げを実現・継続してきたが、約20年間で広がった企業規模間や雇用形態間などの格差はいまだ根本的改善に至っておらず、生み出された成果に対する分配にゆがみが生じている。

このままでは日本の未来が危ない。私たちがめざす「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためには、こうした危機感を共有した上で、個人消費による内需の拡大とすべての労働者の将来不安の払拭につながる「人への投資」、すなわち「分配構造の転換につながり得る賃上げ」が必要である。

そのためには、健全な労使関係の輪を隅々まで広げるとともに、働き方も含めた「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていかなければならない。

連合結成から30年。わたしたちは、先達が積み上げてきた春季生活闘争の流れを継承しつつ、将来基盤を築いていくためにも、組織内だけでなく、すべての働く者の処遇改善につながる「みんなの春闘」に果敢に挑戦していく。

「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」を合言葉に、連合、構成組織、地方連合会一丸となって最後の最後まで闘い抜くことを誓い合おう。

連合はここに2020 春季生活闘争の開始を宣言する。

2020 年 2 月 3 日

連合「2020 春季生活闘争・闘争開始宣言 2.3 中央総決起集会」